

平成30年度 学力向上を図るための全体計画



本校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ○興味・関心を引き出すために、体験的な学習を多く取り入れる。 ○本時の学習のねらいを明確に伝え、学習に対する目的意義をはっきりもたせる。 ○数学科と英語科で少人数授業を実施し、生徒の個々の能力を伸ばさせる。 ○コミュニケーション力を育成する指導の工夫を小学校と連携し推進する。 ○授業評価アンケートを実施し、授業改善に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○朝読書を通して、読解力と豊かな感性を育む。 ○長期休業日等に学力補充教室を実施し、放課後の質問教室・学習相談を充実させ、学力向上に努める。 ○小学校と連携して課題改善カリキュラムを作成し、9年間を見通して表現力の伸長を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業公開を設定し、アンケート等で外部の声を授業改善に生かす。 ○研究授業を積極的に実施し、OJTにより教員の授業力向上を図る。 ○指導法・評価法の研修を実施し、教員の資質・能力の向上を図る。 ○小学校との一貫・連携の研究として研究授業を相互で実施、言語活動を充実し思考力、表現力の伸長を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○最初の授業でガイダンスを行うことや、ガイダンスシラバスを作成し配布することで、生徒・保護者に評価の方法について明確に示す。 ○年間指導計画・評価計画に基づき、より客観性・信頼性のある評価・評定を行う。 ○全生徒を対象に授業評価を実施し、授業改善に生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ○開かれた学校づくりを推進する。 ○進路指導に向け、上級学校合同説明会など保護者との協力的体制を推進する。 ○外部講師を活用した講演会等の充実を図る。 ○学校地域連携事業として地域の教育資源を積極的に活用し、授業や学力補充教室の充実を図る。 ○学校だより、学校ホームページの内容を工夫し、充実させる。

